

おうちにクラゲを浮かべよう

クラゲのつくり方

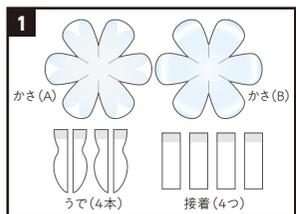
★★★★★

20分

準備リスト

- はさみ
- のり
- ひも(テグス)
- ボールペン(穴あけ用)

つくり方



1 線にそって、パーツの型紙をすべてはさみで切ります。
※かさの切り込みを忘れずに!



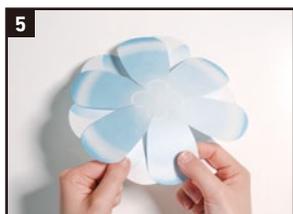
2 かさ(A)の中心にのりを少しつけてます。



3 かさ(A)の上に、かさ(B)をずらして貼ります。
※写真のようにパーツ同士が重ならないように



4 重なったかさ(A)の青色の模様部分にのりをつけます。



5 かさ(A)の青色の模様に合わせてかさ(B)を貼ります。



6 全部で12か所を貼りつけたら、かさの完成です。



7 接着パーツののりしろに、のりをつけます。



8 パーツが輪っかになるように貼ります。のり3つも同じようにつきます。



9 それぞれのパーツの外がわに、一部のりをつけます。



10 それぞれ2つずつパーツをつけて、写真のような形になったらOK!



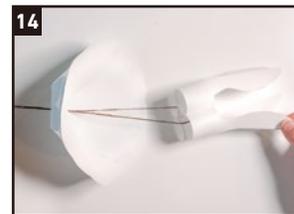
11 うでパーツののりしろにのりをつけ、接着パーツの輪に貼りつけます。
※それぞれの輪にうでパーツを1つ付けると、バランスがよくなります



12 かさの中心にボールペンで穴をあけます。



13 接着パーツの輪にひもをとおします。ななめに向かい合う輪にひもをとおすのがポイント!



14 かさパーツの内がわから、ひもをとおしたら完成です。



※アカクラゲの場合 わすれないように!



プラスアイデア!



リボンやレースなど飾りつけてみよう!



トレーシングペーパーでつくると本物感UP!



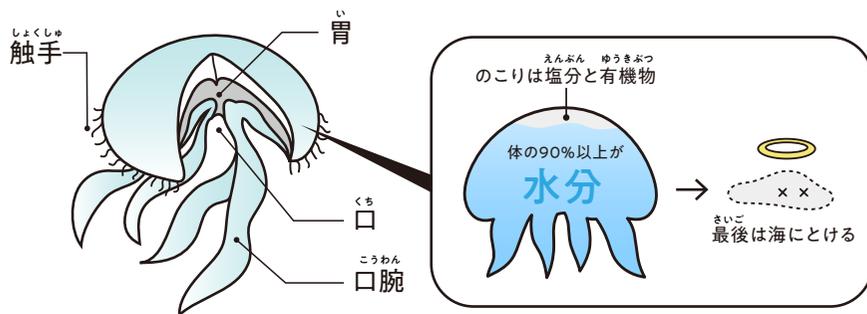
色をぬってオリジナルをつくろう!



クラゲってどんな生き物？

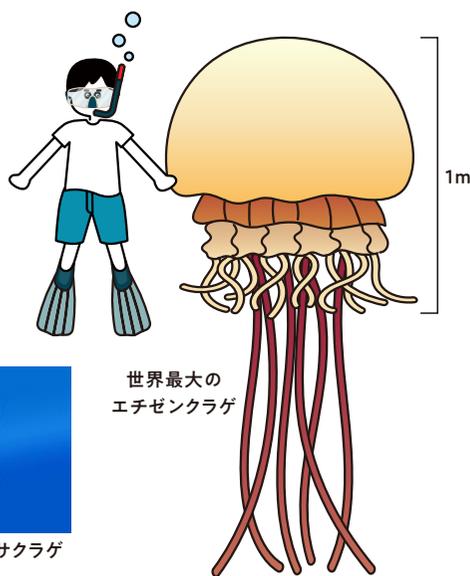
クラゲの体はどうなっているの？

クラゲはミジンコなどのプランクトンの仲間です。わたしたち人間とちがいで、のうも心ぞうもなく体の90%以上が水分でできているため、じゅ命がきたら海にとけていきます。



クラゲの種類は3000以上！

世界には人間より大きいクラゲや、暗い海の中で光るクラゲ、かさを下に向け逆さで生活するクラゲなどがいて、大きさや特徴もさまざまです。水族館でクラゲを見かけたらじっくりと観察してみましょう。



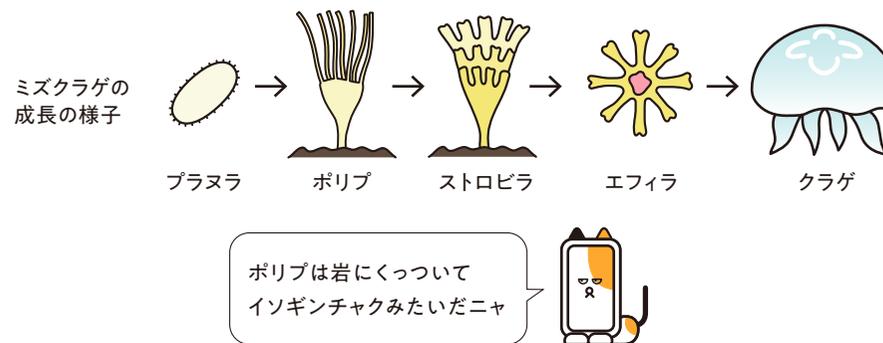
光るハナガサクラゲ



かさを下にするサカサクラゲ

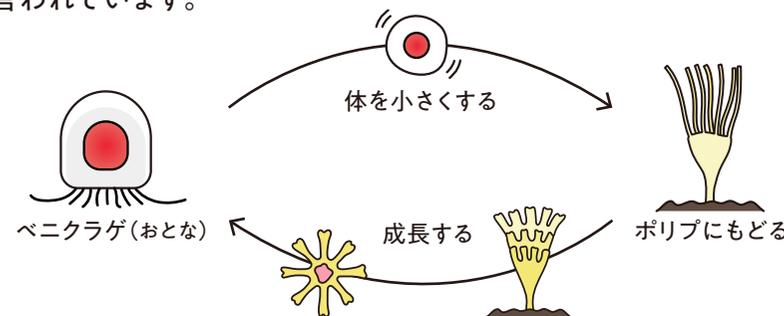
クラゲの子どもはクラゲじゃない？

クラゲは大人になるまで何度も形を変え、そのたびに名前も変わります。生まれたときは「プラナラ」、触手が生えたら「ポリプ」、雪の結晶のような形になったら「エフィラ」、というように変身をくり返し成長していきます。そして最後はみなさんの知っているクラゲの形になります。



1000年以上生きるクラゲがいる！？

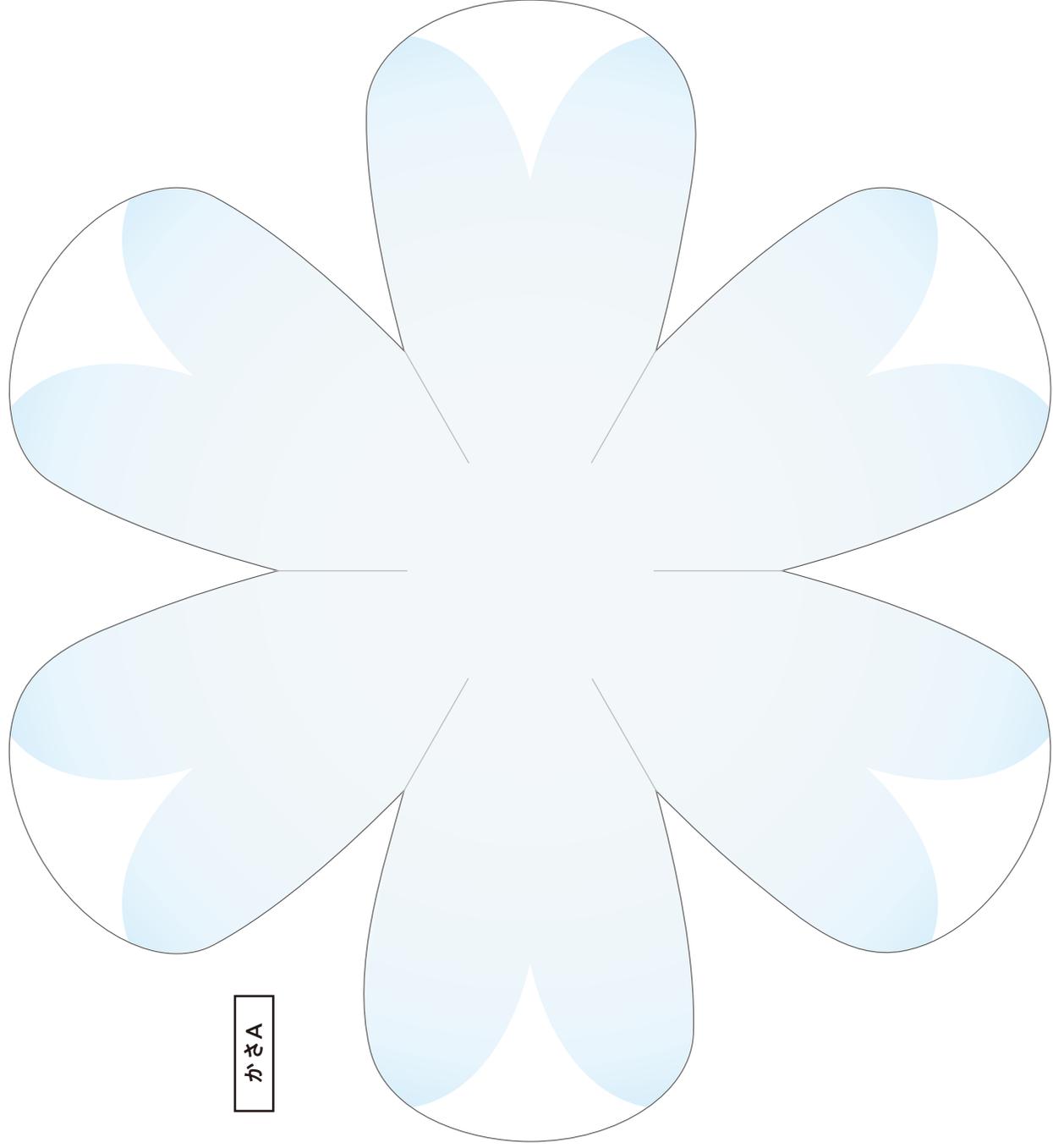
ほとんどのクラゲは、じゅ命が一年ほどですが、ベニクラゲはじゅ命がくる前に体を小さくさせ、「ポリプ」にまで若返ることができます。その後、また同じように成長しクラゲの形へと変化していきます。これを何度もくり返すことができ、何百年、何千年も生きつづけることができると言われています。



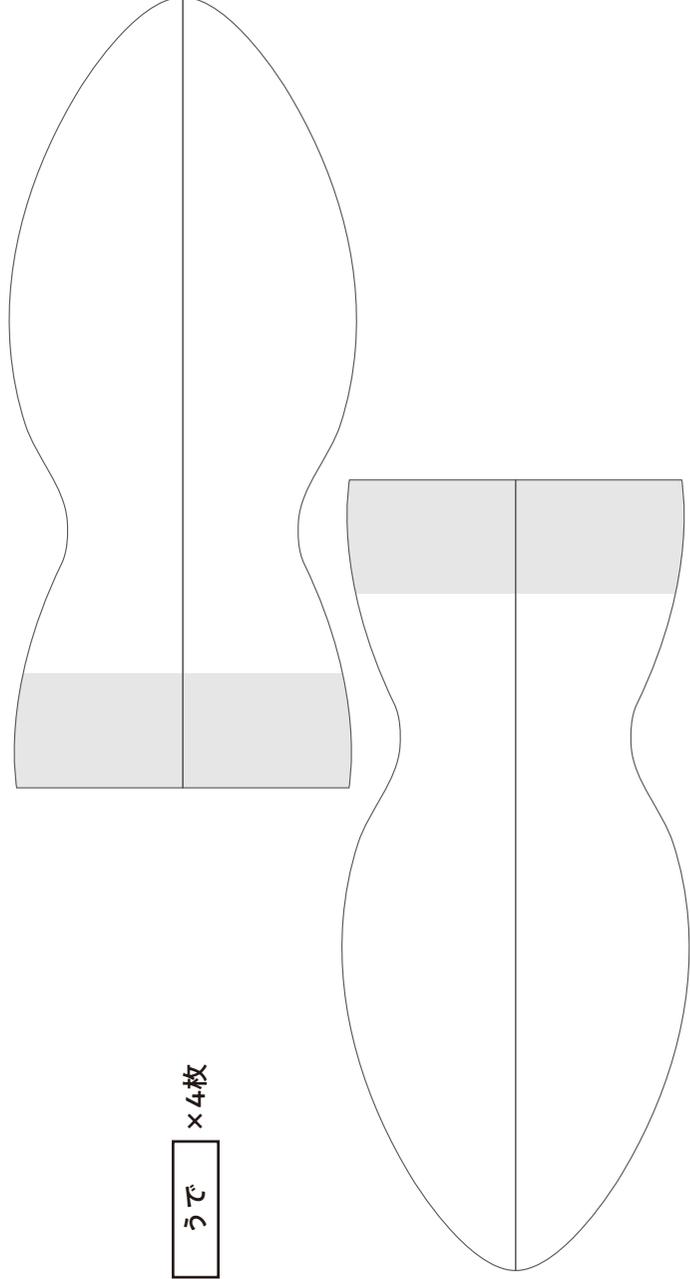
参照 | 「教授インタビュー 生物生産学部 教授に聞く」 広島大学, (<https://x.gd/diD28>)

参照 | 「有性生殖で子どもを産み、老いてもまた若返る不思議」 生命科学 DOKIDOKI 研究室, (<https://x.gd/15NvF>)

参照 | 「ベニクラゲ」 公益財団法人 黒潮生物研究所, (<https://x.gd/8rB3C>)



かさA



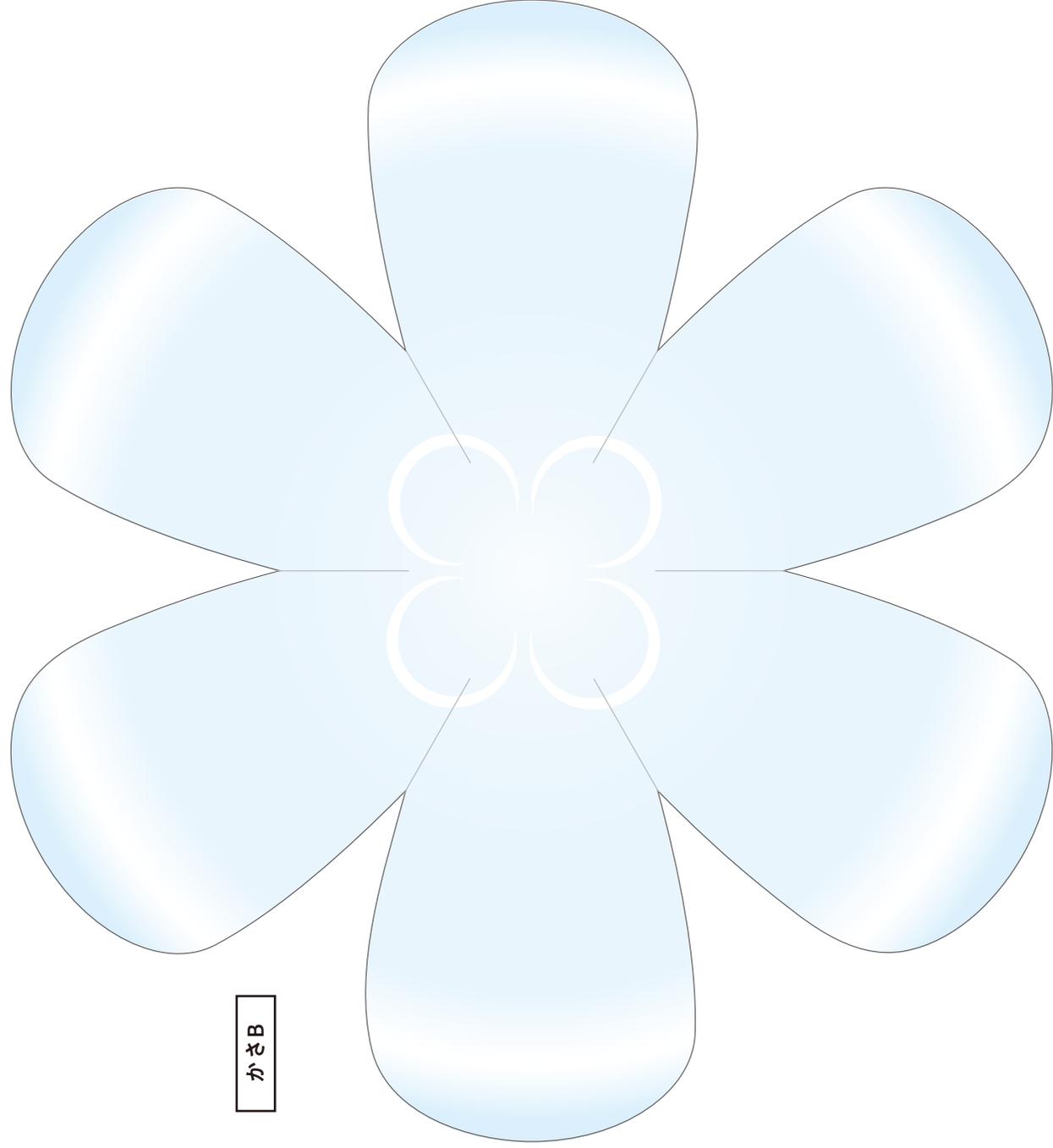
うで x4枚



切る / Cut

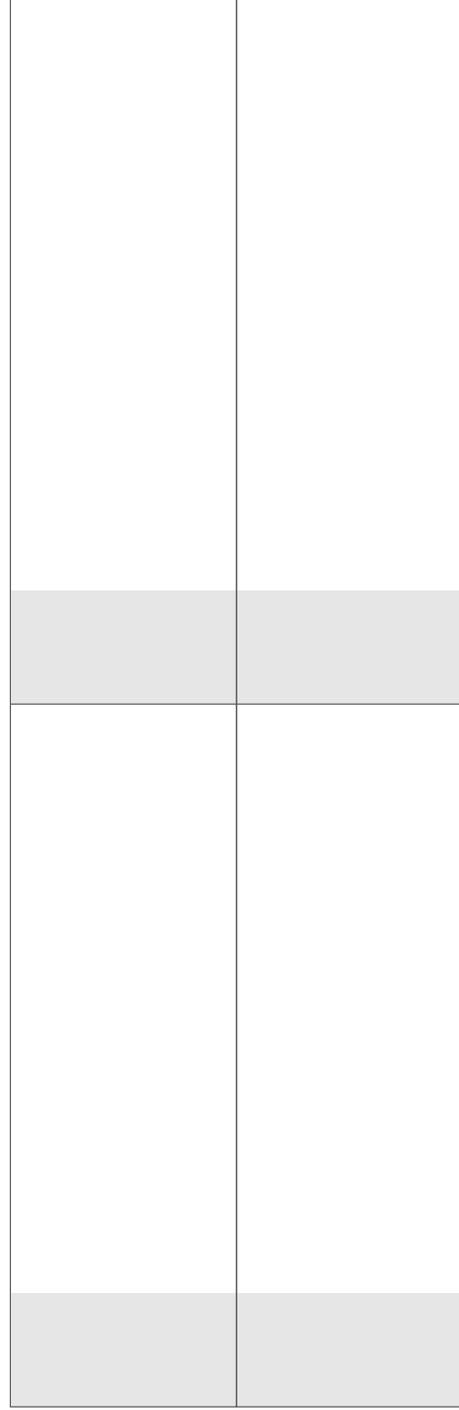
のりしろ / Paste

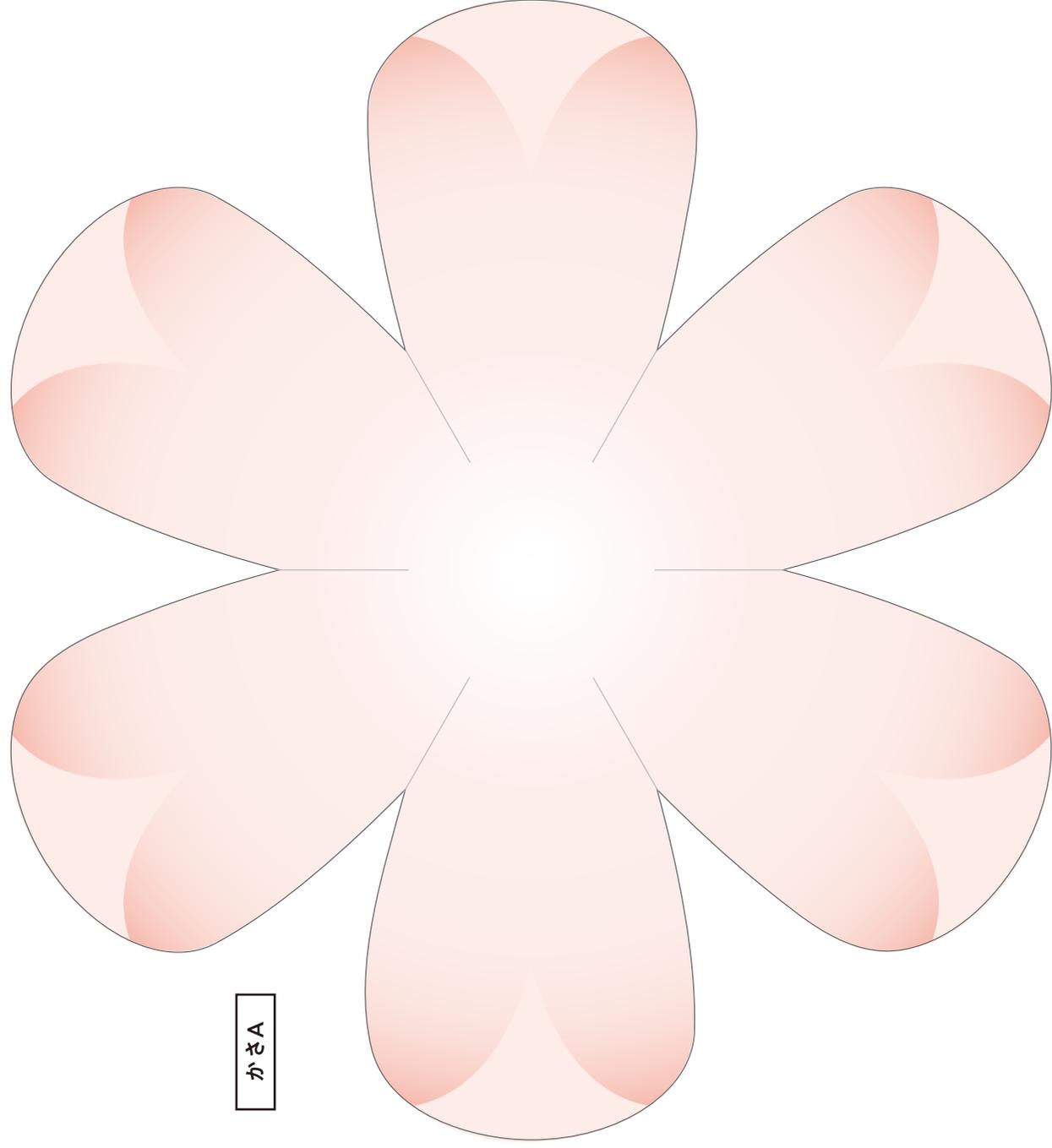




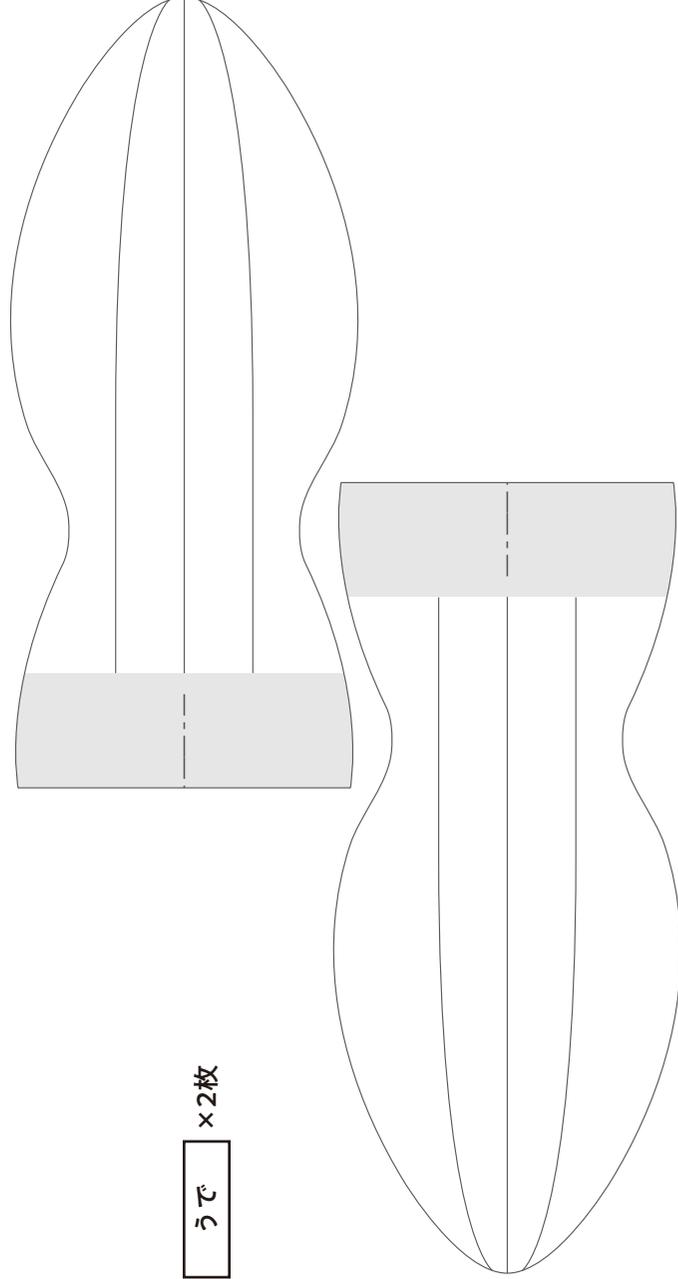
かさB

接着 × 4枚

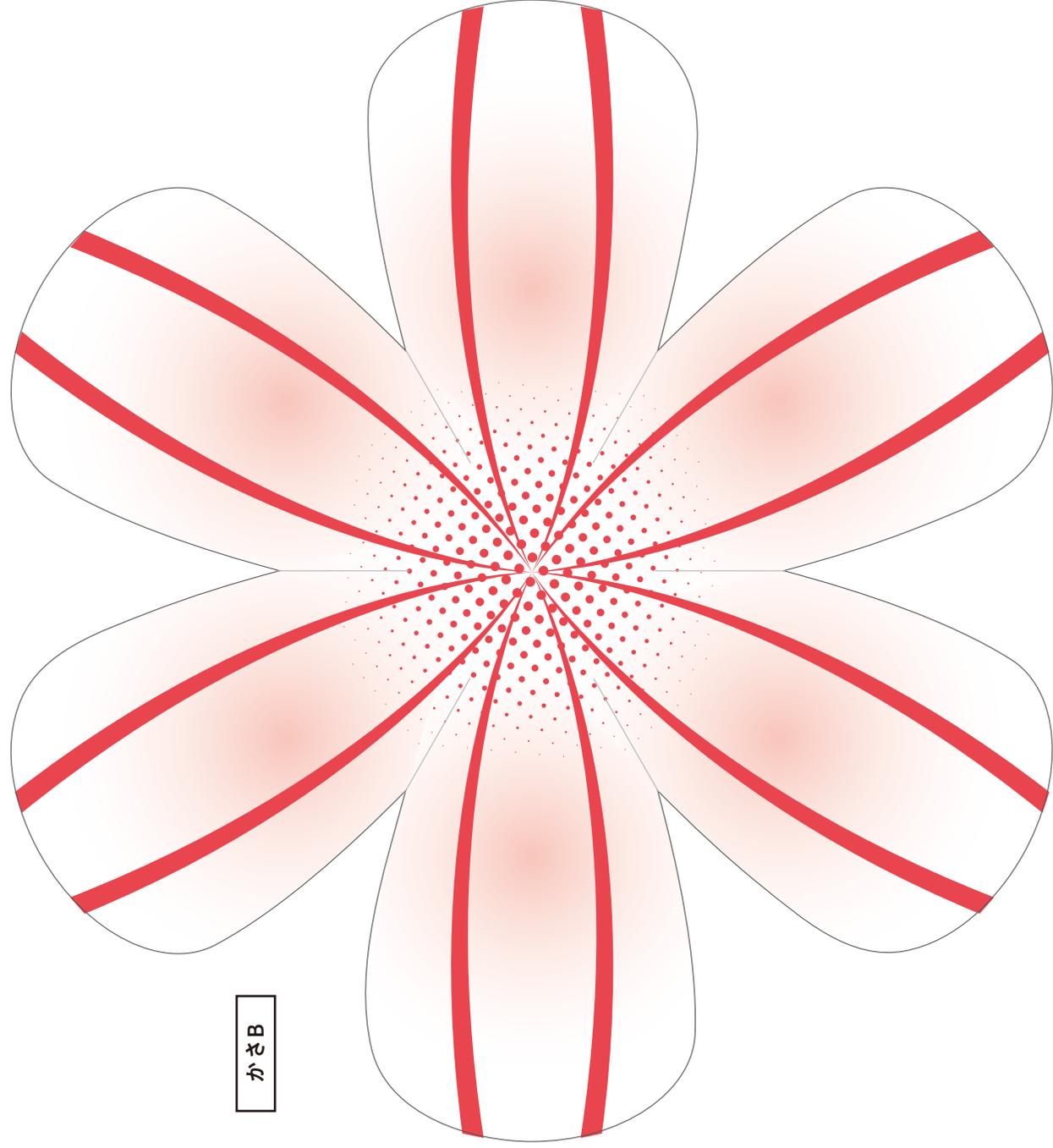




かさA

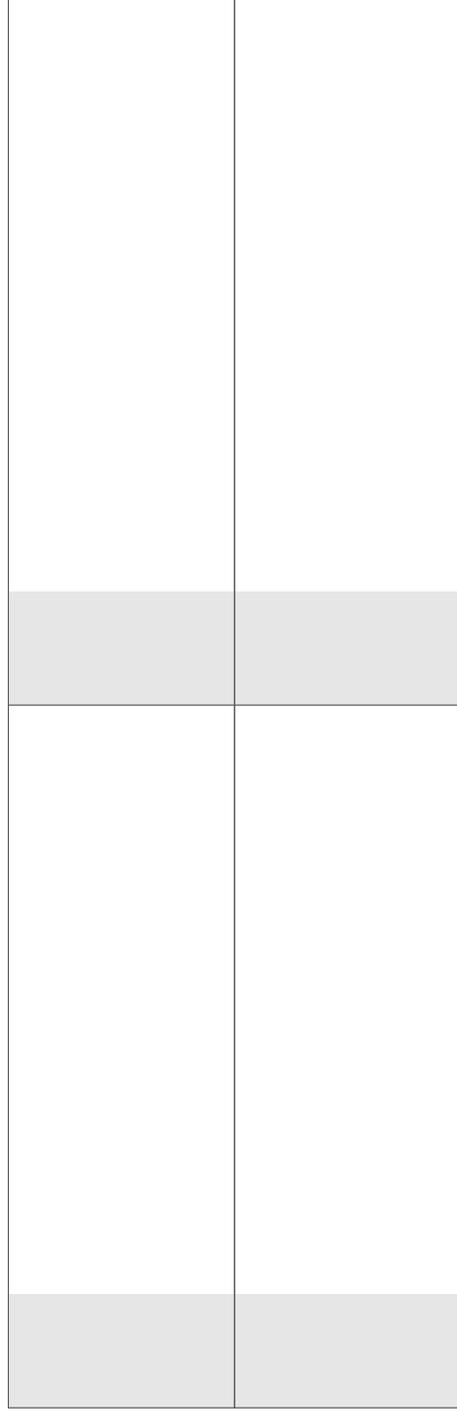


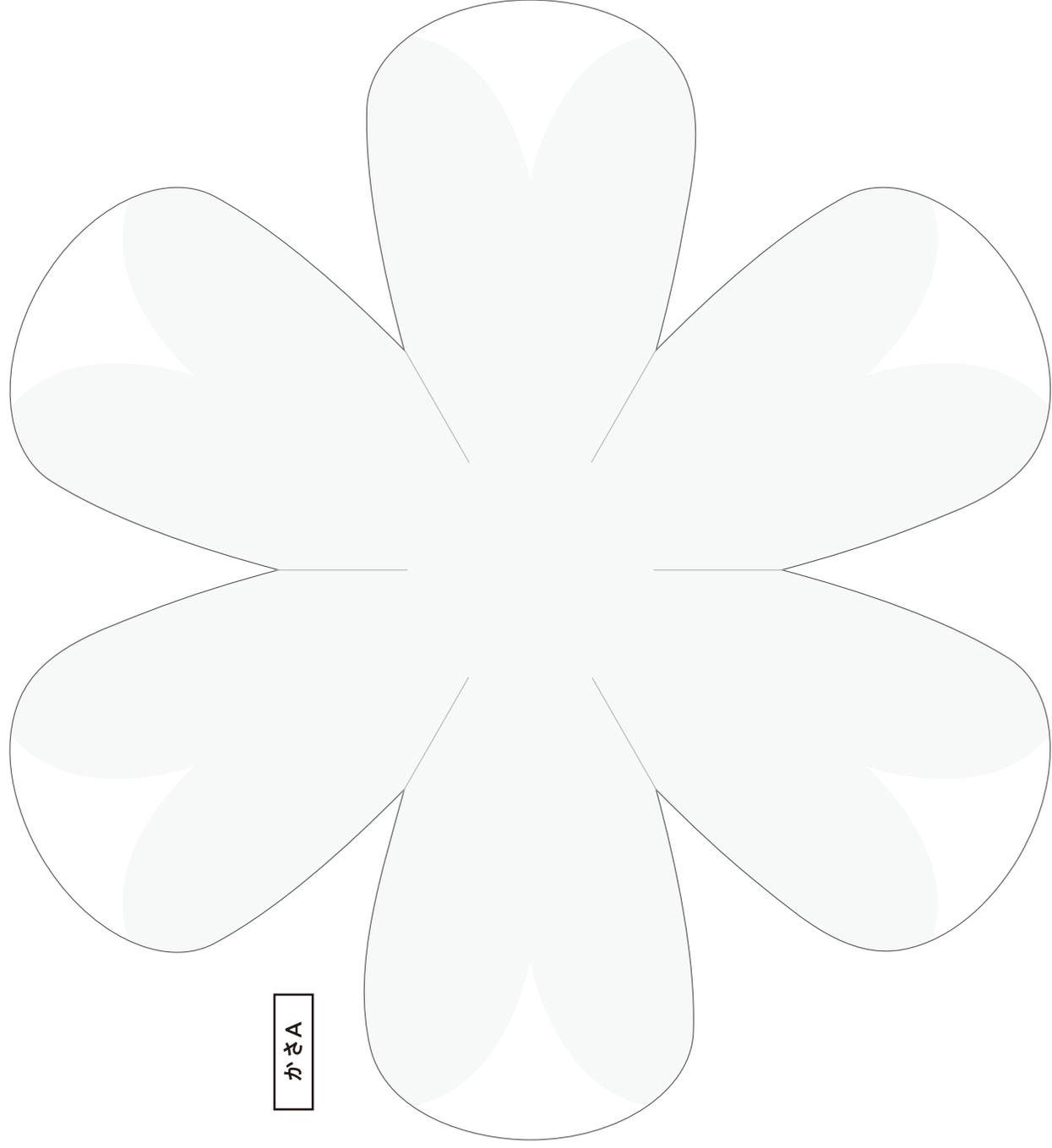
うで ×2枚



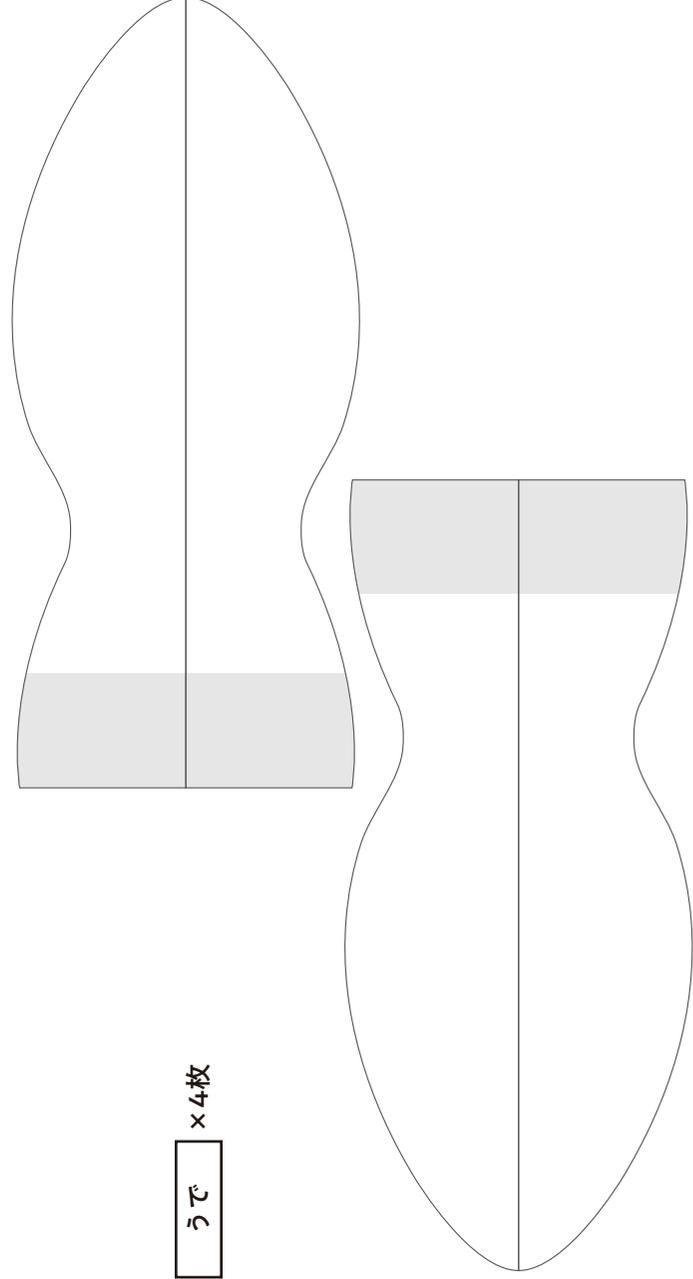
かさB

接着 × 4枚





かさA

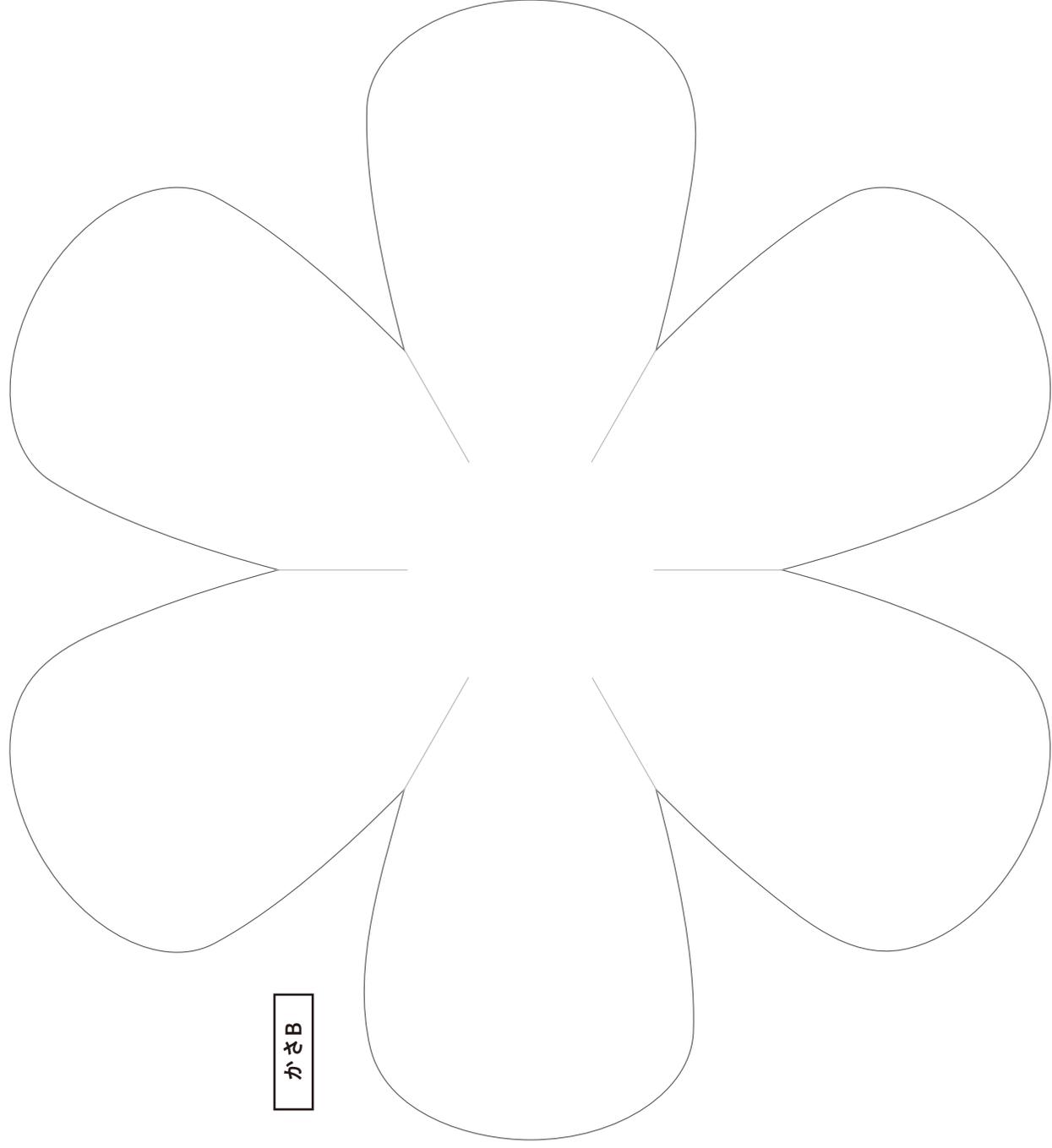


うで ×4枚



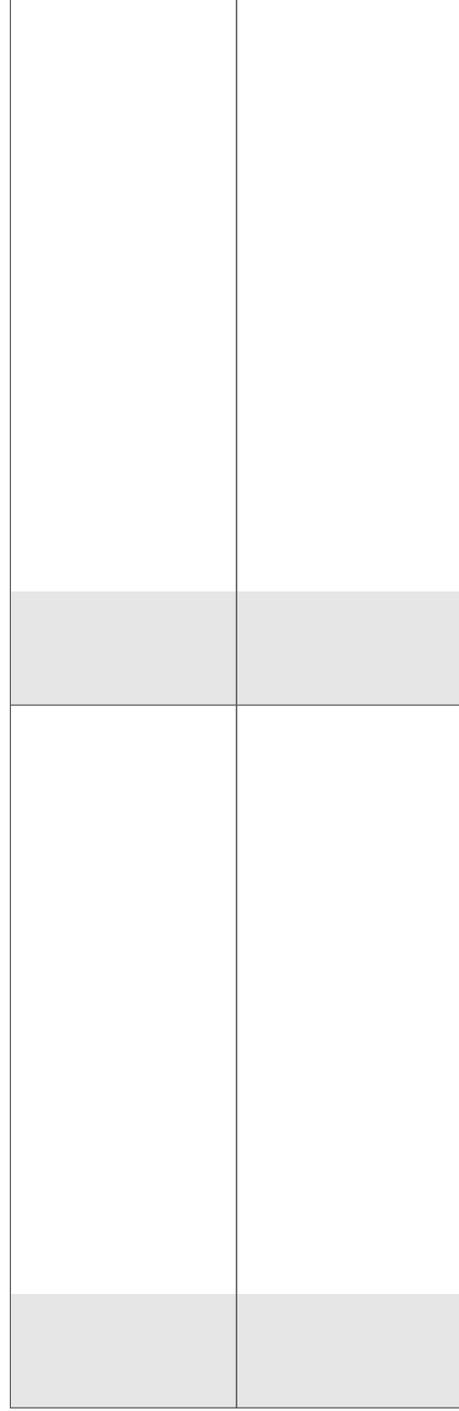
切る / Cut

のりしろ / Paste



かさB

接着 × 4枚



切る / Cut

のりしろ / Paste